

生活のちょっとした困りごとを地域の力で解決へ

田原市生活ささえあいネット

平成26年10月にスタートしてから1年が経過した生活ささえあいネット。平成27年11月14日(土)に、田原福祉センターで初めてのサポーター説明会を開催しました。

この日、市内の各地域から集まってきたサポーターの皆さんは28名。まず、お互いの地区・活動状況等を交えた自己紹介。事務局から、この1年間の生活ささえあいネットの歩みについて、『生活ささえあいネット通信』をお配りして、現状報告を行うと、地域によって生活ささえあいネットに対する理解や利用状況に差があること、もっと気軽に生活ささえあいネットを利用してもらうにはどうしたらよいか等、課題について、皆さんから活発に質疑、意見交換が行われました。

また、この日まで支援が難しくかった『大量のゴミ出し』『日中の見守り支援』等の依頼についても、

多くのサポーターから手が挙がり、コーディネートが即座に成立しました。

今回の説明会では、サポーター同士の顔が見える関係づくり、生活ささえあいネットを参加者全員でより深めるとしても良い機会になりました。



【登録状況】

(平成27年12月24日現在)

- 支援依頼者……74名
- サポーター……90名
- 協力店舗……24事業所29店舗

共同募金配分金助成ありがとうございました

赤い羽根共同募金

平成26年度、障害児者の日中生活を支援する場所がない旧渥美地区に、日中一時支援事業所あつみを岡ノ越会館に開設しました。

この建物の有効活用のため、これまでトイレ等の設備は既存のものを使用してきましたが、このたび共同募金配分金の助成により、室内にカーテンを設置することで、プライバシーの保護や温度調節を行うことができるようになりました。また、和式トイレからウォッシュレット付の最新の洋式トイレへと変わり、段差の解消や手すりの設置等、車椅子の方でも安心して利用することができるようになりました。

今後、障害をもった方が地域で安心して生活ができ、皆さんに愛される事業所となるよう、職員一同努力をして参ります。

10月1日から12月31日まで共同募金運動が実施されました

昨年12月の歳末たすけあい運動の期間において、明るい社会づくり推進協議会、ボーイスカウト、福江高等学校、成章高等学校の皆さんに校内や街頭での募金活動を行っていただきました。

また、市内小中学校の児童生徒、職員の皆さんには学校募金と職域募金に、企業の皆さんには法人募金にご協力をいただきました。

皆さんのご協力により集まった募金は、地域福祉のために活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

募金額の集計につきましては、3月号の社協だよりで報告させていただきます。

